

7月20日(土)午後に 校友会会員の結集を！ 母校創立25周年記念行事決る

将軍山会報

発行者
☎567
茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学校友会
会長 関 謙 二
☎0726-43-5421 内線451
編集者
佐藤 新 二
© 1991

記念行事へのご参加を

会長 関 謙 二

~~~~~  
母校創立25周年記念行事実施の日が近づいてまいりました。ここで  
行事内容の詳細をお知らせし、会員多数のご参加をお願いします。  
~~~~~

本会は、母校創立25周年記念行事
として、次の五つの事業を行うこと
に決め、実施に向けて、実行委員が
それぞれの分担で頑張っています。

①会員名簿(第2号)の発行

▽本文六三三頁△
——四ページをご参照下さい——

②校友会企画・造幣局製作の ブロンズ賞牌を作成

——詳細はこのページの下の方に
掲載しています。ご覧下さい——

③記念講演会

かつて、母校の助教授であった
恩師・竹村健一先生にお願いして
茨木市市民館(ユアアイホール)
で、七月二十日(土)午後一時半
より開演します。入場無料です。

で多数ご来聴下さい。
竹村健一先生は
『新しい世界と日本』と題して講演
して下さいます。

④記念祝賀会

七月二十日(土)午後六時
千里阪急ホテル・仙寿の間

□ 校友会の特別会員・正会員に
は▽記念行事御案内状△をお送
りいたします。

▽記念行事御案内状△の中に、
祝賀会にご参加いただくための
会費振込用紙を同封しております。
七月五日までに祝賀会費を
お振込み下さるようお願いし、
校友各位お誘い合せの上、多数
のご参加をお願い申し上げます。

⑤東京支部の発足へ

本会は、以前より、支部設置につ
いての協議を重ねてまいりました。
母校創立二十五周年の好機をむか
え、来る、十一月十日の日曜日に、
東京支部が発足できるよう、諸準備
をはじめにいたしました。

現在、関東地区には六百名以上の
校友会会員が在住しています。

東京支部の発足へ向って、まず、
十月初めに『発起人会』を開催し、
つづいて『発足準備委員会』仮称
を開き、

ア、東京支部のエリア(地域)の
決定とエリア在住・在勤する校
友会員の人数の把握。

イ、東京支部会規約を作る。
ウ、東京支部発足第一回の会合を
行う場所・内容の決定。

などの協議・打合せをすすめて、
十一月十日(日)に発足できるよう
計画しています。

東京支部発足のお力添え下さる方
どうぞ、おしらせ下さい。

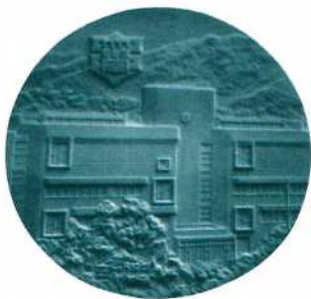
賞牌のご紹介

賞牌(ペーパー・ウエイトまたは
メダルとも呼びます)の仕様は、
素材……青銅
直径……六十八ミリメートル
重さ……百五十グラム
仕上……ブロンズ仕上げ、です。

校友会の企画により造幣局が製作
し、賞牌は、校友会カラーのピロー
ド布を用いた箱に、納められていま
す。

表面は、北摂の山なみを背景に、
母校学舎正面と学章を配した図柄で
す。裏面は、創立二十周年の時に制
定したシンボル・マークを中心にし
左の図案のとおりです。

この賞牌は、今回の記念祝賀会の
引出ものとして参加者に渡されます。
以後は、創立三十周年記念事業基金
(校友会)に一万円以上のご寄附を
して下さい方々に、お贈りするこ
とにしています。



平成 2 年度 消費収支計算書

自 平成 2 年 4 月 1 日
至 平成 3 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
(収入の部)			
会 費	18,000,000	22,020,000	△4,020,000
受 取 利 息	4,000,000	13,051,726	△9,051,726
雑 収 入	0	21,000	△21,000
収入の部合計	22,000,000	35,092,726	△13,092,726
(支出の部)			
一 般 経 費			
人 件 費	1,000,000	1,041,952	△41,952
会 報 印 刷 費	1,000,000	1,315,310	△315,310
そ の 他 の 印 刷 費	1,000,000	3,168,604	△2,168,604
通 信 費	2,500,000	6,588,503	△4,088,503
交 通 費	100,000	0	100,000
消 耗 品 費	20,000	2,962	17,038
会 議 費	200,000	61,668	138,332
慶 弔 費	50,000	30,380	19,620
新入会員登録・ 住所変更等名簿完備費	1,500,000	501,272	998,728
総 会 費	500,000	0	500,000
雑 費	50,000	18,682	31,318
卒 業 記 念 品 代	120,000	133,900	△13,900
学 友 会 活 動 援 助 費	500,000	500,000	0
大 学 祭 援 助 費	100,000	100,000	0
大 学 祭 行 事 参 加 費	100,000	0	100,000
支 部 設 立 準 備 費	200,000	0	200,000
公 租 公 課	800,000	2,609,700	△1,809,700
特 別 経 費			
大学創立25周年記念事業	4,000,000	620,183	3,379,817
校 友 会 会 員 名 簿	(2,500,000)	(0)	(2,500,000)
記 念 文 庫	(500,000)	(0)	(500,000)
記 念 パ ー テ ィ ー	(500,000)	(0)	(500,000)
国 際 交 流 事 業	(500,000)	(620,183)	(△120,183)
将 軍 山 会 基 金 繰 入	5,000,000	5,284,999	△284,999
将 軍 山 会 基 金 2 繰 入	5,000,000	5,000,000	0
〔予 備 費〕	1,500,000	0	1,500,000
支出の部合計	25,240,000	26,978,115	△1,738,115
当年度消費収支超過額	△3,240,000	8,114,611	△11,354,611
前年度繰越消費収支超過額	20,347,749	20,347,749	0
翌年度繰越消費収支超過額	17,107,749	28,462,360	△11,354,611

監 査 報 告 書

私ども監査役は追手門学院大学校友会の平成 2 年 4 月 1 日から平成 3 年 3 月 31 日までの貸借対照表、消費収支計算書、資金収支計算書について監査した。

この監査にあたり私ども監査役は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠、通常実施すべき監査手続きを実施した。

監査の結果、貸借対照表、消費収支計算書、資金収支計算書は、校友会会則に従い、校友会の財産及び収支の状況を正しく示しているものと認める。

平成 3 年 5 月 11 日

追手門学院大学校友会

監事 宮 本 幸 治
監事 森 嘉 一

平成 3 年度 校友会消費収支予算書

自 平成 3 年 4 月 1 日
至 平成 4 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	予 算 額
(収入の部)	
会 費	22,000,000
受 取 利 息	10,000,000
大学創立25周年記念事業	18,000,000
校友会会員名簿関係	(3,000,000)
記念パーティー	(5,000,000)
収入の部合計	50,000,000
(支出の部)	
一 般 経 費	
人 件 費	1,200,000
会 報 印 刷 費	1,500,000
そ の 他 の 印 刷 費	2,000,000
通 信 費	5,000,000
交 通 費	80,000
消 耗 品 費	20,000
会 議 費	200,000
慶 弔 費	50,000
新入会員登録・ 住所変更等名簿完備費	1,000,000
総 会 費	500,000
雑 費	50,000
卒 業 記 念 品 代	5,000,000
学 友 会 活 動 援 助 費	500,000
大 学 祭 援 助 費	100,000
大 学 祭 行 事 参 加 費	100,000
支 部 設 立 準 備 費	200,000
公 租 公 課	2,000,000
特 別 経 費	
大学創立25周年記念事業	23,300,000
校友会会員名簿	(13,000,000)
記念文庫	(500,000)
記念パーティー	(7,000,000)
国際交流事業	(800,000)
記念講演会関係	(2,000,000)
将 軍 山 会 基 金 繰 入	3,000,000
将 軍 山 会 基 金 2 繰 入	3,000,000
〔予備費〕	1,200,000
支出の部合計	50,000,000
当年度消費収支超過額	0
前年度繰越消費収支超過額	28,462,360
翌年度繰越消費収支超過額	28,462,360

校 友 会 貸 借 対 照 表

平成 3 年 3 月 31 日

(単位：円)

借 方	貸 方
資 産 の 部	217,285,921
1. 流 動 資 産	67,285,146
現 金	(541,359)
普 通 預 金	(743,787)
三 和 銀 行 茨 木 西 支 店	737,601
三和銀行茨木西支店(名簿)	100
日本興業銀行大阪支店	6,086
定期預金	(56,000,000)
三 和 銀 行 茨 木 西 支 店	21,000,000
摂津信用金庫本店営業部	25,000,000
日本興業銀行大阪支店	10,000,000
有 価 証 券	(10,000,000)
日本興業銀行大阪支店	10,000,000
2. その他の資産	150,000,775
投 資 等	
将軍山会基金積立	
普 通 預 金	(739,118)
住友信託銀行高槻支店	178,664
日本興業銀行大阪支店	560,454
有 価 証 券	(7,220,000)
日本興業銀行大阪支店	7,220,000
金 銭 信 託	(57,041,657)
住友信託銀行高槻支店	52,041,657
東洋信託銀行茨木支店	5,000,000
貸 付 信 託	(15,000,000)
東洋信託銀行茨木支店	15,000,000
将軍山会基金 2 積立	
貸 付 信 託	(50,000,000)
東洋信託銀行茨木支店	50,000,000
定期預金	(20,000,000)
東洋信託銀行茨木支店	20,000,000
合 計	217,285,921
合 計	217,285,921

*預り金 昭和56年度徴収昭和57年度山桜会費

平成 2 年度事業の説明

平成 2 年度事業につきましては、母校創立二十五周年事業の推進を軸に展開致しました。予算の▽会員名簿の刊行▽記念文庫の設置▽記念祝賀会――の三項目は、予算計上していましたが、事業のほとんどが平成 3 年度に行われることから未執行で次年度に。しかし、校友会の会員動向を把握するため、調査票の送付、名簿詐欺を未然防止するための広報など、会員への通信、印刷費が予算超過となりました。

このほか、国際交流事業として上海師範大学を初訪問した際、ワープロ一台と金一封を贈った費用です。常任理事会レベルでは、訪中旅費の問題を協議したところ「みなさんの大切な終身会費を旅費で支出することは不可」との判断。訪中した役員の自己負担で旅費は賄いました。

基金の造成は、予算をやや上回る一千万円余りを繰り入れることが出来ました。

本会は母校卒業生のみなさんから預った終身会費をもつて、いかに母校とのコミュニケーションづくりを有効に行うかが課題です。終身会費は卒業生各位からお預りしたものであることを忘れず、母校の発展にも協力していく所存です。

平成 3 年度予算について

出生人口の低下が進み、私学経営が厳しくなるなかですが、我々卒業生は母校に絶えず更なる発展を遂げて欲しいと期待しています。ことは母校が四半世紀を迎えるという記念すべき年でもあります。

校友会としては、記念事業を種々計画致しました。本年度は、これらの施策が成功裡に、そして事業が母校の発展に寄与することを祈念して実行致します。

このため、会報をはじめとする広報の一層強化を図りつつ、創立 25 周年事業費用の予算を計上しました。会員のみなさん方には、これら趣旨をご理解いただき、各種の事業実施に関して積極的なご参加を下さるようお願い申し上げます。

会員名簿の購入・広告掲載申込み

再度のよびかけとお願い

多数の方々のご協力をお願いします。
広告に関するお問合せは校友会事務局までお願いいたします。

再度のよびかけ その理由とは？

まず、第一に挙げられる理由は、予約申込みが、予想よりもはるかに少ないことです。現在、二五〇冊の申込みしかありません、本文だけで

六二三ページの名簿ですから、この予約数では、一千万円近い赤字となりますので、発行できず、予約金をご返却することになりますかねません。会員名簿の完備と発行は、校友会にとって最重点課題です。でも赤字を出してまで、ということにも理があります。
役員は広告取りに走っています。校友会会員各位、特別会員や正会員のみなさま、どうか、名簿予約のお申込みを、お願いします。
新名簿の発行は、少々遅れる予定です。理由は「不明者名簿」の不明者の現住所その他の確認に手間だったこと、今春、卒業された新会員の調査に時間がかかったことです。
今からでも遅くありません。ぜひ多くの会員各位が、新名簿をお申込み下さい。

追手門学院大学も開学以来、早や二十五周年を迎えることになり、校友会会員数も一九、三二〇名を数えます。大学を卒業され、社会人として活躍している会員諸兄も多岐にわたり、同窓、先輩、後輩の動向が気になります。
そこで開学二十五周年記念事業の一環として、校友会会員名簿（第二号）を発行します。
名簿は個人のいろいろなデータが記録されているため、発行にあたっては細心の注意を払うことは当然ですし、会員以外にお渡しする事はありません。また、予約制をとり、必要部数のみの発行となりますので、申込み期限までに早目にお申込み下さい。
なお、名簿広告を募集しますが、掲載広告の企業につきましては、校友会にて検討の上掲載を致します。

校友会会員名簿（第二号）の発行にあたり、会員ご本人、または会員のご紹介による広告を募集いたします。掲載料金は別表の通りです。同封の申込用紙でお申込み下さい。

校友会会員名簿(第2号)

頒布価格 1冊1万円
(送料は本会で負担します)
体 装 B5判600ページ
申込締切 7月17日
申込方法 同封の振込用紙を使用して校友会宛銀行振込

—— 広告掲載料金 ——

1頁(ヨコ145mm, タテ215mm) 10万円
1/2頁(ヨコ145mm, タテ107mm) 6万円
1/4頁(ヨコ 72mm, タテ107mm) 4万円

※版下は基本的には掲載主にてご用意頂きますが、無い方には活字組み版下=3千円、写真・ロゴ入り版下=1万円で実費作成も可能です。

校友会のありかた

常任理事 鶴 毅

今春追手門学院大学を卒業され、新しく社会人の仲間入りをされた諸君、おめでとうございます。
社会には諸君が就職された会社を含め、非常に多くの組織があります。参加できるのが大学の校友会です。追大の校友会も設立以来二十一年目をむかえました。母校に評議員、理事を送り出し、校友会会員、現役学生諸君、母校の発展に寄与出来る実力がやっと備わりました。

第一期卒業の私は、校友会設立当初より参画してきました。予算もな一年一回の総会を開く事がやっとで、会報発行、名簿管理などは出来る状態ではありませんでした。年令的にも若く、社会的地位もなく、自分の仕事に追われて、校友会活動をする余裕などなかったのです。卒業後十年程たった頃から昔の仲間の動向が気になりはじめたのです。会報は発行していましたが、記事に魅力はなく会員からの連絡も非常に少ないものでした。そこで有志がもう一度集り校友会の建て直しを始めたのです。再建時は、校友会会長も置かず、常任理事会が全員で責任を負って次の目標を掲げて活動を再開しました。

一、会報の定期的発行
二、会員名簿の整理

三、終身会費未納者のチェックと納入依頼の徹底
四、校友会基金の蓄積(目標三億円)
五、校友会の公益法人化の可能性の調査

以上の目標に沿って、会報は年2回発行を続け、会員名簿は、調査票を発送し名簿発行が可能なるまでに整備しました。終身会費の徴収は納入金額より徴収の為に経費が多くなる迄何度も行い、その作業を休止しました。基金の蓄積は、会の運営を会費の利子による運営に徹し又、大学

校友会の会計事務についても大学事務局の厚意により大学会計課がその管理を行い、会報発表の通り今年度一億五千万円の基金を育てるまでになりました。法人化については問題も多く現在棚上げしています。
この様な校友会の熱意が実り五年前の大学開学二十周年には、校友会会員名簿第一号の発行、記念パーティーの開催をする事が出来、会員に注目されました。

今年創立二十五周年を迎え校友会の夢も大きくふくらみます。会報にて発表の通り創立二十五周年記念パ

追大英文学会のご案内

英米語学文学科教授

樋口 靖

卒業生の皆様にはご健勝のことと拝察致します。

創立二十五周年を迎え、英米語学文学科は、一層の発展をめざし、教員一同、研究・教育に専心いたしております。一九八四年には英文学専攻の修士課程が発足し、一九九〇年からは、英文学、英語学に加え、英米地域研究も修士課程のカリキュラムに加えられる、英米の文学、語学、文化の総合的な研究・指導体制が整いました。

大学院の発展とともに学部スタッフも充実し、先輩の皆様になげぬ立

学生の交換留学に結びつけ、欧米の大学生にも広げてゆく予定です。
これらの事業は校友会だからこそ可能であるし、もっと色々な事が考えられ、母校、校友会の発展につながると思います。

最後になりましたが、今年二十五周年記念として会員名簿第二号が発刊されます。校友会の活動が会員一丸となって発展する為にも住所変更等ありましたら先輩、後輩、知人に限らず本会事務局に一報をお願いします。校友会活動に興味のある人は是非ご連絡下さい。

校友会常任理事
S45年経済・経済卒

派な卒業生を送り出すべく一同頑張っています。こうした機運の盛り上がりの中でこのたび「追大英文学会」が発足することになりました。

この学会は、教える者と教えられる者という関係ではなく、同じ道を志す者として、教員、学生が英語の研究を通じて交流・親睦をはかることを目的としています。

年間行事としては、教員、学生等会員の論文集、ニューズレターの発行、講演会、親睦会など様々な催しを企画しています。

中でも、ニューズレターは現役の

院生、学生のみならず、広く卒業生の皆様にも、母校の専攻学科の現状を知っていただき、英語の世界との接触を保っていただくというもので、卒業生の皆様にも会員としてご入会いただきますようご案内申し上げます。卒業生の皆様と母校の間には校友会という太い立派な絆がありますが、それに加えて「追大英文学会」は英米学科の卒業生の皆様と学科とを結ぶもう一つの絆としての役割も果たしたいと願っています。近い将来においては学科の同窓会の窓口としての機能も果たせるようにしたいと考えています。

学会というとかたぐるしいものと思われがちですが、本会は最新の研究成果の発表から、身近な英語、英語文化にいたるまでの幅広い情報交換の場として、会員の親睦の場として考えていただければ幸いです。
年会費は卒業生が三万円となっています。ご希望の方は、大学の英米語学文学科、追大英文学会(代表 天野元)まで葉書でご連絡いただきましたら、ニューズレター第一号と入会申込書を送らせていただきます。よろしくお願いたします。

*現在のスタッフ

(英文学) 古茂田淳三、野谷士、安藤幸江、Jヘリック、藤谷聖和、藤本雅樹、新谷好
(英語学) 丸谷満男、樋口靖、稲木昭子、高尾典史、名和俊彦
(地域研究) 安西二郎、天野元、和田光弘、S・タゴール

追手門学院大学 アメリカンフットボール部

グリーンソルジャーズ

監督 北 川 一 夫 (4期生)

昭和41年、開学と同時に創部いたしましたアメリカンフットボール部「グリーンソルジャーズ」も、現代社会同様「激変」というスピードと変化をこの25年間に体験してきました。

現在選手102名、マネージャー18名、チアリーダー10名の部員130名、コーチ14名、チームドクター、トレーナー2名と150名近い大世帯になっています。そして創部以来振り返って見ますと、大きく4時期に分類されます。①創成期 (S41～45) 関西8番目のチーム。フットボールがマイナーで、自由で猛者の時代、ひたむきに一部昇格を目ざしていました。②一部活躍期 (S46～59) 一部リーグで頑張る、多くの名選手を輩出し、京大の台頭により、フットボールが大きく発展した時代。③低迷期 (S53～59) フットボールのメジャー化と社会の変化に抜本的な対策が立てられず、三部リーグまで降格し、部の存続すら心配した時代。④再建期 (S60～H3) 20周年を期にOB会主導にて、本格的チーム運営を目ざして再建に取り組んでいます。S59年の部員数

21名と比較しても、100名を超える現状はまさに隔世の観があります。

我部の歴史も決して光り輝くものではありません。栄光よりも失意の方が多かったかもしれません。そして25才、人生に例れば、青春を経て青年期、まさにアイデンティティの確立がなされたと考えております。我々は二つの基本理念を持っています。一番目は「大学に於ける教育活動の一環として存在する。」すなわち、何事よりも学業を優先する。青年期に於ける心身の鍛錬を計る。大学生としての社会常識を身につける。健康、安全対策に万全を尽す。二番目は「体育会の一員として勝利を唯一の目的として活動する。」しかも正しい方法で獲得しなければならぬ。

曲折を経て飛躍

現在の大学に於けるフットボールは、最もメジャーなスポーツと言っても過言ではないと思われます。関西協会に52大学が参加し、一部から

三部までリーグ戦が行なわれています。しかも一部リーグ戦は60%がテレビ中継されている盛況です。又部員数も一部リーグで平均150名、二部リーグでも約70名と、多くの参加者が集っています。

我々はスポーツによる推薦入学制度のない国立大学の京大、神戸大同様、運動一流校と肩を並べられると考えております。フットボールは未経験者が大学で始めても、スター級になれる要素があるスポーツです。各ポジションの役割分担が、きっちり決っているうえ、交代自由無制限、他の競技と違ってオールラウンドの運動能力は必要とせず、投げる、ぶつかる、けるなどいずれかの分野で能力を発揮できればいいわけです。そうした才能を集積しチーム作りする方法は、むしろ企業や組織体を活用化させるノウハウと共通していると考えています。

そして我部では、チームを「経営」という視点で、三原則を持っています。①リクルート②マネージメント③コーチング。まず人を集め、組織を合理的に管理運営し、密度の

高い指導を行うということです。そして三つのバランスを常に考え、総合力のアップを目指しています。

長期ビジョンは、「日本一」と大きく、短期目標は必ず達成出来る事を設定しています。10段跳びはなく一段づつ歩み、達成の為の具体的なプランと具体的な努力を行なわねばなりません。しかも強い意志を持ち、一年間持ち続ける事が大事であると考えております。「プライド、チャレンジ、アンド、オーガナイズ」といって考えています。

そして我部では、チームを「経営」をキャッチフレーズにしています。誇りを持って(弱気になるな)、目標に向ってへこたれることなく、(正しい計画、挑戦する気分)、そして個々の力を結集しチームパワーを高める。すなわちチームの原点は個々あり、その力をいかに結集するかであると思います。

記念行事を挙行

再建がスタートし5年が経過し、これから本格的に一部リーグ復帰のプランへ移行します。本年は25周年「シルバニアニバーサリー」記念行事を挙行させていただきます。人の集まるソルジャーズを目ざして、OB、学生、父兄等の応援をいただき、目標達成の為の総合力のアップへ役立ててゆきます。どうか益々の御声援をよろしくお願いいたします。

編集室から

▽クラブOBからの寄稿は大歓迎です。上記のように校友会会報のスペースを活用していただき、現役学生の活躍に対して支援、声援を送って下さい。

▽校友会会報の発行は、定期としては六月と九月。六月は校友会の事業報告と決算などを掲載、九月には秋季の將軍山祭の行事広報を交えて発行します。それ以外の発行は、緊急連絡などを踏まえていいますので、投稿の際は各定期の号に間に合うよう「送付下さい」。

▽原稿用紙は校友会事務局にありますが、市販原稿用紙を使われる場合は、一行18字で書いて下さい。行数の制限はありません。但し、行事予定の掲載を書かれる場合、発行サイクルをご配慮下さい。

▽校友会事務局に「クラブOBに案内状を出すのでリストラベルを出力してほしい」と申し出られるケースがあります。これは実費をお願いするのですが、コンピューターマスターからの抽出作業料は一回当たりの基本料十円がかかります。これにラベルプリント料が加わりますので、一千名以下の出力ならば直接事務局に来て下さり、常備の名簿マスターから手作業でされるのが安くつくと思います。

会議報告

本号から役員が協議した会議報告を掲載します。今回は昨年九期以後の会合についてお知らせします。

△90年9月12日、常任理事会△

議案・内容 ①上海師範大学訪問の件 ②記念品・ワープロ一台と現金贈呈を決定③会報発行の件 ④発行時期について意見交換⑤開学25周年記念行事の素案作成⑥名簿発行の件 ⑦実行委員長に鶴常任理事を選出⑧記念パーティーの件 ⑨招待者など検討⑩役員連絡網の作成⑪大学祭参加の件 ⑫例年通り支援する ⑬など。

△90年9月28日、理事会△

議案・内容 ①上海師範大学訪問の件 ②常任理事長での決定を承認、先方との覚書を作成③名簿発行の件 ④平成三年卒業生を含むこととし、広告を求めて経費軽減を図ることに決定⑤報告 ⑥前理事長の東國徳氏葬儀参列⑦記念パーティーの件 ⑧招待者など検討⑨名簿広告料の設定 ⑩検討⑪赤レンガ基金への寄附 ⑫10万円寄附を決定 ⑬など。

△90年10月24日、理事会△

議案・内容 訪中(上海師範大学)の報告、上海師範大学の方々を母校25周年記念行事に招待するか などを協議。

△90年12月1日、常任理事会△

議案・内容 25周年記念事業の再

確認と会員への通信方法など検討

△90年12月4日、理事会△

議案・内容 ①25周年記念事業の件 ②式典を91年7月20日、千里阪急ホテルで開く③記念講演会を茨木市内で開く④式典の招待者を検討⑤会報の件 ⑥次回発行時、学報「藍風」を同封し、母校の現況を会員に知らせる⑦卒業生記念品の見直し ⑧卒業証書の形態が変更になる見直し、これを受けてペーパーウエイトに変更するための作業に着手 ⑨など。

△91年2月17日、理事会△

議案・内容 ①記念事業の件 ②記念講演会の講師として恩師・竹村健一先生に打診する③記念式典は千里阪急ホテルとし、会費は会員一名につき一万五千元。夫婦での参加は二万五千元、記念品は一名分贈る④記念品は大学校章、シンボルマークをレイアウトしたペーパーウエイト。単価五千円相当で製作する⑤ペーパーウエイトは希望会員に実費頒布する⑥記念事業実行委員会を編成し、理事全員が委員に就くとともに、理事以外からも委員を募る。25周年記念事業実行委員の責任者は次の各理事。

委員長 関会長
名簿小委員長 鶴常任理事
講演会小委員長 大橋副会長
パーティー小委員長 平野副会長
中国接待小委員長 蟻柴常任理事
②名簿発行の件 ④発行は91年6月末を目指す⑤広告料は▽1ページ10万円▽2分の1ページ6万円▽4分

の1ページ4万円。版下は先方で用意していただくが、無い場合は▽活字組み3千円、ロゴ・写真入り1万円

△91年4月13日、常任理事会△

議案・内容 ①東京支部設置の件 ②平成三年度中に開設を目指す③第3回上海師範大学訪問の件 ④十月中旬をメドに参加理事を募る⑤決算内容のチェック。

△91年4月27日、常任理事会△

議案・内容 ①上海師範大学からの訪日メンバー決定、報告②講演会、記念祝賀会の企画協議③終身会費の金額の見直しを意見交換 ④など。

△91年5月12日、理事会△

議案・内容 ①平成二年度事業報告と決算の承認を求める件(内容は本会報の掲載) ②平成三年度事業計画と予算の編成について(同様に掲載) ③將軍山祭実行委員会からの協力要請を受けて協議、協力する方向で合意。

△91年6月9日、理事会△

議案・内容 ①記念講演会の件 ②講師・竹村健一先生との折衝経過を報告、広報手段としてポスター、ビラの作製を決定▽茨木市、茨木市教育委員会が後援してくれることを報告③記念パーティーの件 ④案内状の文案を検討。その後大学当局と協議し、案内状を目下作製中で近日、会員の手許に届く運び⑤25周年記念事業実行委員の選任 ⑥など。

編集後記

▼母校のある大阪も梅雨入りし、曇天で身体も気持ちもジトジトする季節になりました。ジュニア・ブライドなどと言って、六月を喜ぶのは花嫁だけでしょうか？

と、会報に発行が遅れたことをゴマカそうとしましたがダメですか？校友会事務局には住所変更の業書が次々と届き、その知らせも会報を通じてしなければと思いつつ、二回連続して住所変更の掲載を見送っています。新名簿を今期待ください。

▼こうやっているうちに、母校創立二十五周年記念講演会、祝賀会のある七月二十日はアツという間に来てしまします。広報担当としては、カチカチ山のタヌキの如く、日々みなさんへの報道強化という火のついたタキギを背負って歩んでいきます。

▼私の仕事場にある電話のベルが鳴り、係が電話を取り次ぐ。「ご自宅からです」と薄笑い声で回してくる。私は居留守を決め込もうと思ってもすでに遅く「どないかってんねん！」と会報発行遅れを指摘する佐藤顧問のドラ声飛び込んでくる。すみませんと謝る以外、どうしようもない。二万人の会員が会報を待つ思いに対して、申し訳ないと思います。

▼校友会会報第39号は、試しにカラー印刷をしましたが好評でした。今回も色刷りをし、黒一色の味気なさから脱皮を図りました。若干、印刷費は上昇しますが、読み易くなること

にご理解下さい。

▼私の友人で校友会の会合ってどんなこと話合ってるの？ といった人がいました。私も力及ばぬながら会合には顔を出しています。こんな話が出るのは、それだけ広報が十分でないのだらうと思ひ、「会議報告」を掲載するようにしました。

▼上海師範大学への訪問団が、国際交流の橋渡しをしてきています。旅費は自腹を切っていただいています。有難うございます。

私も目的は別として、中国に行きたいナァと思うのですが、時間はなし。いずれ参加させていただきます。その時は、広報で協力致しますのでヨロシク。

▼出生人口が減って、各企業とも将来の労働力確保に向けて対策を考えられています。大学も魅力ある大学づくりへと取り組んでいただいているようです。卒業生の一員として、母校の発展を祈念します。創立25周年記念事業をベースに、30周年に向けた諸施策が検討されているそうですが期待しています。(新)

校友会の現況

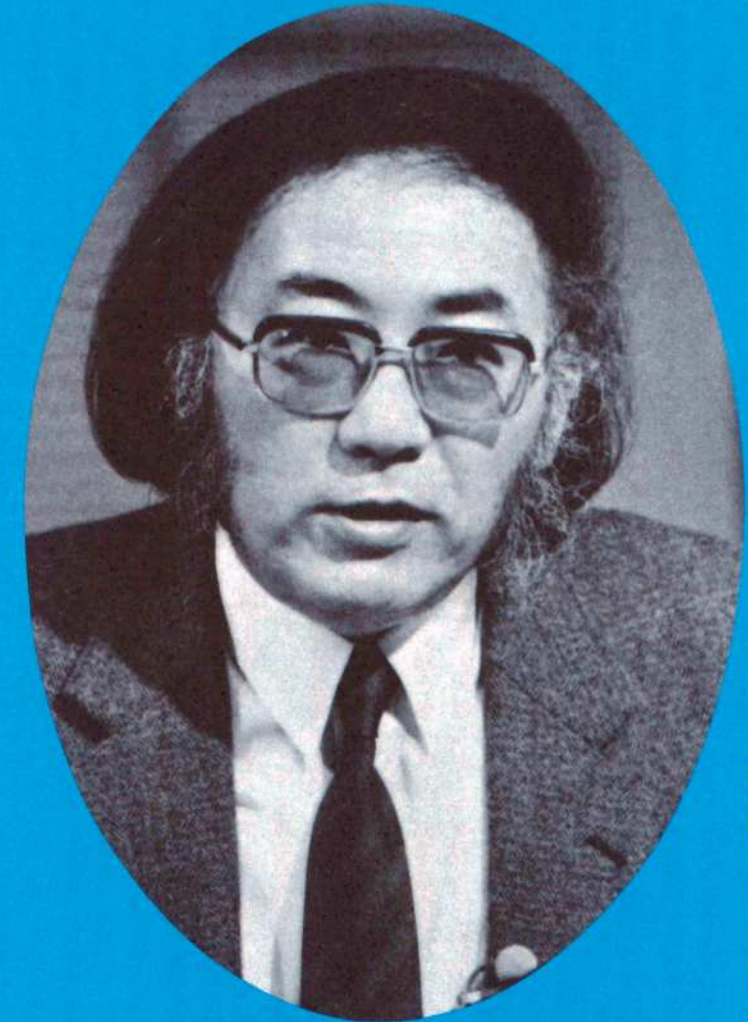
(平成3年5月31日現在)
正会員(大学卒業生と大学院修了生) 総数 一九、三〇〇名
内、不明会員 一、七四八名
物故会員 五一一名
特別会員(現旧教職員) 総数 四六八名
内、不明会員 四一名
物故会員 四五名

追手門学院大学 創立25周年記念

茨木市民のみなさんに語る

竹村健一先生講演会

(元追手門学院大学助教授)



新しい世界と日本

時 7月20日^土 1:30開場

所 茨木市市民会館
(ユーアイホール)大ホール

※自動車・自転車でのこ来場はご遠慮下さい。

主 催 追手門学院大学校友会
後 援 茨木市・茨木市教育委員会

入場無料

